



飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
ガバナー 芳賀 裕
ガバナー補佐 西川 博 美
会長 千葉 政 行
幹事 石川 邦 俊

地区活動目標

- 1.人々が手を取り合うのを促そう。
- 2.行動しよう。
- 3.ロータリー賞へ全クラブで挑戦しよう。
- 4.あの時(2011年3月)、これまで、そして未来を考えよう。
「復興フォーラム(仮称)への支援と協力

【ロータリー特別月間】
11月は
ロータリー財団月間

2019 - 2020 年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
 RI会長 マーク・ダニエル・マローニー 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 Fax(024)543-1433
 シンクスター・ロータリークラブ (アメリカ・アラバマ州)

通 算

第20回 [2987] 例会報告 令和元年(2019)11月21日(木)

出席委員会報告

会員総数	38名
出席会員	32名
欠席会員	6名
出席率	84.21%

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開 会 点 鐘 千葉政行 会長

◆ロータリーソング [それでこそロータリー] 服部裕一 会員

◆四つのテストの唱和 渡辺達也 職業奉仕委員長

◆お客様紹介 有限会社日本軽貨物福島 代表取締役 斎藤 等 様

【11月の奥様お誕生日】…♪♪♪ おめでとうございます ♪♪♪
 11月23日 西山 弘子様(友幸会員)

.....lunch time.....

◆会長あいさつ



前回は北クラブさんとの合同夜間例会お疲れ様 ロータリーソング 4つのテスト
 でした。また、この間のモンゴルのチャリティーコンサートにお付き合いいただいた方、
 ありがとうございます。歌と踊りがあってとても楽しい時間でした。これからも応援し
 ていきたいなと思いました。今、スポーツが盛んですが、聖光学院のサッカーやバレーボ
 ール、ラグビーも今回は負けてしまいました。このままいくと、野球も危ぶまれるのかな
 という気がしております。私は高校生のスポーツも大好きなのですが、色々な所が順番に
 行った方が、もっともっと地域も盛り上がり楽しくなるのではないのかなと思ってお
 ります。今、毎朝新聞で安齋さんと子さんの「マイストーリー」を見るのを楽しみにしてお
 ります。女性が農業でそれなりの地位を得たというのは、安齋さんと子さんたちの活動のおかげだ
 という気がしております。素晴らしい活動をされているのだと改めて思いました。これからも農業
 を行う方が増えていけばいいなという気がして楽しみに読んでおります。皆さんもぜひ読んで
 みて下さい。



◆幹事報告 石川邦俊 幹事

A. 月 信 「ロータリーの友」11月号 「ガバナー月信」 11月号 No.5

B. 来 信

① 福島・福島北・福島東・福島西 各ロータリークラブより
 「4クラブ合同事務所移転のお知らせ」
 開所日 11月11日(月)
 住 所 〒960-8625 福島市万世町2-5 福島銀行9F
 TEL 024-536-1010 fax 024-536-1011

② 福島しんたつロータリークラブより (ホスト)
 「市内ロータリークラブ合同新年例会の案内」
 日 時 令和2年1月6日(月) 12:30~
 場 所 ザ・セレクトン福島
 会 費 5,000円
 小笠原尚史 会員

C. メーキャップ報告 11/10 地区補助金セミナー

◆スマイリングBOX 川又康彦 委員 【合計3-39】

- | | |
|-----------|---|
| 千葉 政之会員 H | ・夜間例会お世話になりました。 斎藤等さんの入会を祝って |
| 石川 邦俊会員 H | 小笠原さんのスピーチたのしみしています。 斎藤君を紹介しました。ぜひ入会をお待ちしています。 |
| 鈴木 重忠会員 H | 妻に誕生日のお花をいただきありがとうございます。 |
| 川又 康彦会員 H | 妻への誕生日のお花ありがとうございます。 |
| 油井 明則会員 H | 体調回復、これからもよろしく願います。 |
| 渡邊 宏 会員 S | 先の地区大会で表彰を受けました。 |
| 斎藤 孝裕会員 S | JRA職場訪問、お世話になりました。福島記念11レース馬連勝利しました。小笠原先生、スピーチありがとうございます。 |
| 渡辺 達也会員 S | 妻にお花を頂きました。ありがとうございます。 |
| 中島 定宏会員 S | 競馬場例会お世話になりました。 本日欠席おわび |
| 佐藤 真也会員 T | ゲストに斎藤等様をお迎えして ご入会をお待ちしております!! |



スマイリング報告

◆SAA、ロータリー情報委員会からのお願い 佐藤真也 委員長

まずSAAから、事務局から出欠提出がいくと思いますが、きちっと返信していただいて、急遽、欠席になった場合はなるべく早めにご連絡をいただき、食事の準備等々がございますので、事務局運営にご協力をいただきたいと思っております。例会出席時には判子を押していただくことと、バッチの着用を含めてお願いしたいと思っております。また、ロータリー情報委員会からですが、今月のガバナー月信とロータリーの友がお手元に配布されております。今月はロータリー財団月間ですので、寄付やポール・ハリス・フェローについてなど書いてあります。お時間ある時にお目通し下さい。



◆ 会員スピーチ

小笠原尚史 会員



徐々にスピーチが回ってまいりました。ロータリー歴の浅い会員がだいぶ増えましたので、私のプロフィールなどをお話ししながら、今までの歩みをお話しさせていただいて、それから財団のお話をさせていただきます。私の幼少時代から今までの思い出しますと、うちの父が飯坂ロータリークラブにお世話になっていたことにも関係がありますが、ロータリーの会員の方とご家族とのお付き合いがあったものですから、そのお話も交えて、思いつくままお話をさせていただきたいと思います。私は1959年(昭和34年)1月に生まれまして、めでたく還暦になりました。福島市で生まれ、幼少期は渡利に住んでいました。父は医者で医大の医局におりまして、その後はそこから、昔の大原病院に勤務となり、近くに大原病院の社宅がありまして、うちと阿久津バスターガバナーと桃井小児科の先生と長屋のような所におりました。阿久津先生も桃井先生もロータリーに入られており、その辺からロータリーの関連が出てきたのかなと思っております。うちの祖父は、この地で開業医をやっており、私が小学校に上がるか上がらないかの時に病気で倒れて、親父が戻ってこらざる得なくなり、小学校中学校を地元でお世話になって、小学校の時には飯坂小の太鼓クラブに所属しておりました。ちょうど登足して2年目くらいだったでしょうか、私は2回生でした。そこで私は笛を習わせられまして、小学校で一番最初にやったのが私だそうです。その当時は大太鼓、小太鼓をマスターしないと笛は吹かせられないらしく、何人か習ったのですが、結局私ともう一人しか残らなくて、卒業まで笛をやりました。現在も、神社から毎年古式太鼓指導員の委嘱状がきまして、後進の指導をしております。あまり勉強をしていなかったら理数系が苦手で、芳賀裕ガバナーのお宅が立町にありまして、お母様が高校の数学の先生でした。お袋の知り合いで、当時は進学塾が無かったので、お母様の所へ勉強を聞きにいった記憶があります。大学に入りまして、歯学部医局から勤務医として、東京と千葉で生活しておりました。その時に親父はこのロータリークラブにお世話になっておりましたが、ちょうど私が東京に住んでいた時に、突然電話がかかってきまして、ロータリーのみならず東京に行くから出てこいと言うのです。当時は新幹線が走っていませんでしたから、上野で紹介するから待てと言うのです。1978年(昭和53年)東京で第2回目のロータリーの国際大会があったのです。それに出席するために飯坂ロータリーの方々が上京してきたのです。その時初めて渡邊宏先生にご挨拶いたしました。そして、お前早く開業しろと言われ、昭和の終わりにこちらに帰ってきまして、親父が開業している隣に診療所を建て今に至っております。その時に設計をさせていただいたのが今は亡き佐々木貢会員なのです。佐々木会員も歯科の設計は初めてだったそうで、そこで引地さんという若い設計士さんがいたのですが、それが福島したつクラブの会長さんをされた引地さんです。当時はロータリーに興味無く、眼中になかったのですが、親父が病気で倒れまして、出られなくなり、私に入会のお誘いがありました。私のスポンサーは渡邊宏先生なのですが、当時例会場が花水館だったので、例会が終わると親父を見舞って説得しに何回も来ていただきました。根負けして今日に至った次第です。花水館の例会場は4人掛けのテーブルで、私はいつも遅刻ぎりぎり、SAAの人がいつも前の方に誘導するのです。そこにはいつもロータリーの重鎮がいらっしゃって、そこに座らされて食事をした記憶があります。全然食事が喉を通りませんでした。入会して何カ月間は本当に緊張していた記憶があります。その当時は四十前で、若い会員が私の他に一人くらいしかなくて、その次に若いのが千葉会長なのです。私は40周年の畠会長の時に二瓶会員と入会しお世話になりました。当時は40名以上おりました。例会に出ると、重鎮の方々から色々とアドバイスを受けましたし、理事でもないのに時々理事会に出席して下さいと言われてきました。今思うと良い勉強になったなと思います。発言は無いのですが、雰囲気を楽しむために新入会員を理事会に出席させていたのだなと思います。先ほど、国際大会のお話をしましたが、2004年には大阪で国際大会がありました。その時は佐藤喜市郎会員が会長の時だと思います。私は親睦委員長で、大阪大会の後に京都と奈良の旅行を計画しろと言われてまして、3泊4日の旅行を計画しました。

ロータリー財団の話ですが、歴史的に言いますと、1917年に第6代目の国際ロータリーの会長アーチ・クランクが提唱して最初は基金で始まりました。最初は26ドル50セントしか集まらなかったそうです。1928年の国際大会で正式に「ロータリー財団」という名称になりまして、今に至っております。皆さんのお手元に今年度の年次寄付のお願いの振り込み用紙が配られております。税の優遇になりますので宜しく願いいたします。年次寄付が10年貯まると、「ポール・ハリス・フェロー」という称号がいただけます。また10年経ちますと「マルチプル・ポール・ハリス・フェロー」という称号がいただけます。一気に1000ドル寄付すると「ベネファクター」という称号がいただけます。先日は補助金管理セミナーに行ってみまして、ロータリーというのは寄付を集めるだけではなく、使う活動もしております。地区補助金、グローバル補助金をどんどん使って奉仕活動をしてくださいという趣旨のものです。60周年の歴史本の時に申請をしたのですが、申請の手続きはとても煩雑です。事細かく事後報告までしなくてはならないので、申請は難しいのですが、ある程度分かっておりますのでご相談いただければと思います。このセミナーに参加しないと申請が下りませんし、また、年次基金をきちんと納めていないと実績がないと言われて最初からはねられるそうです。毎年お願いいたしますが、年次基金だけでもお願いいたします。また、セミナーでは表彰を受けてまいりました。地区で20クラブしかもらえないそうです。皆さんが基金に100%寄付いただいた実績を表彰するものです。ご協力ありがとうございました。今年度も宜しくお願いいたします。今月はロータリー財団月間ですので、詳しくはロータリーの友を見ていただければと思います。ご清聴ありがとうございました。



2018-19年度
クラブバナー表彰